

「業務改善運動の推進」重点評価 説明資料  
(将来像 5 5-④-1-1)

令和3年8月4日  
総務部行政課

■ 業務改善運動とは

業務改善運動とは、日々の業務をより良いものにするために、あらゆる手法を活用してアイデアを引き出し、実践していくことをいい、その手段として、効率的で質の高い業務を永続的に行い、市民に喜ばれる「市役所」をつくることを目的として、平成25年度から「とよかわ仕事カイゼングランプリ (T-1 グランプリ)」を実施している。

実施方針では、取組みを報告し、表彰式まで実施することで、提案だけでなく実績を重視し、取組みの見える化を図ることとしている。

カイゼンを8年間実施する中で、毎年多くの提案が出され、職員の中にもカイゼン習慣がある程度根付いてきている。

■ 過去の実績（平成25年度～令和元年度）

	提案件数
平成25年度	258
平成26年度	132
平成27年度	116
平成28年度	169
平成29年度	165
平成30年度	177
令和元年度	174
合計（全体件数）	1,191

■ 令和2年度取組予定内容・目標

引き続き T-1 グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。

■ 取組内容

- ・カイゼン運動として、T-1 グランプリを実施した。
- ・仕事カイゼンに関する啓発・支援を強化するため、カイゼン週間を設定し、他市等の取組み事例について紹介し業務改善への意識の高揚を図った。
- ・優秀仕事カイゼンを選出し、表彰を行った。

## ★取組実績

	提案件数(A+B)	実施完了 (A)	未了等 (B)
一般部門	128	90	38
接遇部門	20	16	4
シティセールス部門	5	2	3
スクラップ部門	7	3	4
働き方改革部門	13	7	6
合計 (全体件数)	173	118	55

※合計のうち、新型コロナウイルス感染症対策関連の取組みは50件

## ★カイゼン週間

令和2年9月16日～令和2年9月30日

- ①令和2年9月16日 昨年度（令和元年度）の仕事カイゼンの紹介
- ②令和2年9月23日 他市他県の取組みの紹介
- ③令和2年9月28日 他市他県の取組みの紹介

## ★表彰式

令和3年1月19日



表彰式の様子



優秀仕事カイゼンに選出された3課

※取組みについては「別紙」参照

## ■ 取組による効果

・カイゼン週間などの取組みの結果、T-1 グランプリの取組み件数が、173件（前年度174件）であり、うち「働き方改革」に関する取組みは13件（前年度12件）であった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、動画配信やWeb会議など「新たな生活様式」に対応する業務改善（50件）も実施され、業務改善意識の向上や業務の効率化を図ることができたと考えられる。

## ■ 取組に対する今後の課題

### (1) 事業のマンネリ化

- ・T-1 グランプリの実施から令和2年度で8年となり、提案者（各職員）が

マンネリ化(思考や行動などがワンパターン化し、新鮮さがなくなること)している。

- ・T-1 グランプリのゴールドグランプリは、H28年：消防署、H29年：市民課、H30年：市民課、R1年：消防署、R2年：消防署であり、「最終的に賞を取るような改善については、その部署でしかできないことも多く、あまり自分の業務の参考にしようとは思わなかった。」という意見もある。

(2) 各課の負担

- ・各課に対して、T-1 グランプリにおいてカイゼン提案を係で1つ出すように求めているが、本来、日常的な改善提案で良いところを「T-1 グランプリ」に提出する「見栄えの良い取組み」を考えなければならないという風潮になっており、自発的な改善から強制的な活動になってしまっている傾向がある。また、こうした状況から「行政課にやらされている」「担当業務以外の仕事が増える」という負担感が生まれている。

**【基本】** そもそも事務改善とは、誰かにやらされるものではなく、効率的に業務を進めるための自発的な取組であり、各課で自然に実施されているべき。

「T-1 グランプリ」を複数年実施した結果、行事への参加が目的になってしまい、無理やり「見栄えの良い」改善提案を考えなければならない状況になってきている。

⇒ 県内他市も似た状況。(令和2年度に小牧市が実施した状況調査では、事務改善制度に取り組む27市中19市が事業のマンネリ化、提案件数の伸び悩み、提案者の偏り、各課の負担増などの課題を抱えていると回答。)

本来の目的から趣旨が変わってしまっていることから、事業の見直しが必要。

## ■ 今後の具体的な取組予定

### (1) 令和3年度

T-1 グランプリの最終年として周知するとともに例年どおり働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。

### (2) 令和4年度以降

T-1 グランプリは、過去8年の実施により、各課の業務を遂行する上で、事務改善意識の醸成を図り、効率的で質の高い業務を遂行することに一定の効果を挙げたと考えられる。

事務改善は、引き続き全職員の改善意識のもと図られる必要があるため、T-1 グランプリを終了した後は、主に若手職員の「身近な問題発見力」の養成と「働き方改革」及び「業務スクラップ」などを意識した業務改善チャレンジを応援する新たな取組みを実施予定。

# 優秀仕事カイゼンの紹介

## ゴールドグランプリ：廃棄防火衣の有効利活用

【消防本部消防署本署】  
消防署本署 警防第1担当

廃棄防火衣を利用し、空気ボンベカバーにすることでコストをかけずに『隊員の安全』と『資器材の保護』を目指す取り組みです。

- ① 試作品作成（作成済み）
  - ② 試作品検討～完成品作成（1ヶ月程度）
  - ③ 完成品増産（本署分8個：2ヶ月程度）
  - ④ 完成品増産、拡充（各署所分：3～6ヶ月程度）
- ※作成時期は廃棄防火衣の数により変動  
※計24個作成予定であるが、必要に応じて（特殊車両への充当）増産する。



## シルバーグランプリ：保護者とのつながりを大切に！

【子ども健康部保育課牛久保保育園】  
Mou Tuber (モー チューバー)

保護者との交流機会が中止になり、園生活を直接見る機会が少なくなっているため、情報発信をする中で保護者とのつながりを大切にしている。

- ユーチューブの配信
  - ・部屋の環境（玩具や作品も含む）
  - ・子どもに人気のある歌や手遊び
  - ・運動会での体操や踊り
- 園日記の活用
  - ・誕生会(毎月)、七夕や夏祭り等の園行事の写真を中心に、簡単なコメントをつけて園HPにアップ
- メールの活用
  - ・月初めのテストメール配信
  - ・保育園で掲示した連絡事項をメールでも配信する。
  - ・提出物の締め切り日を事前に保護者に伝える。
  - ・台風等の注意呼びかけ



## ブロンズグランプリ：管内カメラの制作

【上下水道部下水整備課】  
チーム下水整備課

下水道管のヒビなどを確認するのに、カメラを購入するのではなく、職員の持ち物を寄せ集めて制作する。

最初からパーフェクトなものは制作できないので、試作機を制作し、撮影中、撮影後に気が付いた問題点を改善することで、実用性の高いものにする。



みんな工夫して取組んだぞ



T-1グランプリ  
仮公式キャラクター  
平明多  
(ひらめいた)